

科目コード	R24302	科目名	基礎作業学				
履修区分	必修	開講期	1年前期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者	渡邊 哲也						
授業の概要	「作業」や「作業活動」が人の生活の中で私たちとどのような関わりを持つものなのか、私たちが疾患や障害を有したとき「作業」や「作業活動」がどのように治療的な意味をもつのか、治療媒体としての「作業」や「作業活動」はどのような治療的要素を含むものなのかについて学習することで、作業療法士としての治療的側面とその効果について身につける。またグループワークで、作業と生活の関連について各個人の考えを共有することで治療的思考を広げる。						
DPとの関連	慈愛ある豊かな人間性と人間を広い領域から捉える教養を身につけている						
	理学療法・作業療法を实践するための専門的知識・技術を身につけている						
	生命の尊厳や人間尊重を基本とする高い倫理観を持ち、自律して行動できる思考力や判断力を身につけている						
	理学療法士・作業療法士として課題を解決しようとする情熱と創意を持っている						
	地域社会・国際社会の一員として、専門職種と協働できる専門知識、コミュニケーション能力を身につけている						
2025年度以降の学則適用者用のDPとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は項目順や表現が異なりますので注意してください。 DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）= 卒業までに身に付けるべき資質・能力							
到達目標	1) 作業療法における「作業」の意味について自分史から出来事を抽出し記述できる。 2) 作業と治療の関連を理解し、説明することができる。 3) 作業分析に必要な身体・精神機能を理解し、作業に照らし合わせて説明することができる。						
履修上の注意事項	講義でグループワークを行う場合があります。積極的な発言を期待します。また、提出物については、事前に説明する「期限」や「体裁」を厳守してください。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】			事前・事後学修		
	1	オリエンテーション 作業学とは			教科書P2-13から作業に関する概要を確認しておく。		
	2	作業療法的手段と作業の枠組み・対象者			教科書P305-365の事例から対象者のイメージを膨らませる。		
	3	作業療法に関連する基本的事項			一般的な治療の目的と作業を治療に用いる条件について理解する。		
	4	ライフステージと作業			今の自分に影響を与えた自分史を考えてみよう。		
	5	健康増進に向けた作業			教科書P218-234から健康であるとはどのようなことが理解しよう。		
	6	作業における諸理論			教科書P235-304から各理論における予備知識を習得しておこう。		
	7	精神分析と作業・感覚統合と作業			精神科領域と小児領域における作業療法について見聞を広めておこう。		
	8	対人援助とコミュニケーション			実際のコミュニケーションから自他の行動を認識できる視点を身に付けておこう。		
成績評価方法	レポート課題（100%）にて総合評価します。レポート課題は、講義内でのグループワークの成果を記入する課題(70%)と個人の考えや学びを記入する課題(30%)で構成しています。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 作業学 第3版・長崎重信 編集（メジカルビュー社）					978-4-7583-2042-9	
参考書							
教員からのメッセージ	作業療法の「作業」に含まれた意味を理解するために、自身の「作業」から考えていきます。その後、作業が持つ治療的特性と生活支援との関連性についてグループワークを行います。グループワークに参加できない場合は、評定に大きく影響する場合がありますので、体調を整え参加できるようにしておいてください。						
教員との連絡方法	ポータルサイトからの連絡、及びオフィスアワーに研究棟307研究室を訪れてください。						
実務経験のある教員							